生きもの観察会レポート

2011年７月２４日（日）　NPO法人小田原食とみどり
天気：曇　気温：24.5℃

多様性調査	出現種	種名
トンボ目	４種	ウスバキトンボｙ、アジアイトトンボ、シオカラトンボｙ、ギンヤンマｙ
水生カメムシ	５種	タイコウチ、コマツモムシ、アメンボ、ヒメアメンボ、ケシカタビロアメンボ
水生甲虫	６種	コガムシ（成虫、幼虫）、ヒメガムシ（成虫、幼虫）、ゴマフガムシ、マメガムシ、チビゲンゴロウ、コシマゲンゴロウ
チョウ	５種	モンシロチョウ、ヤマトシジミ、クロアゲハ、アゲハ、ツバメシジミ
バッタ	６種	ヒシバッタ、オンブバッタｙ、ショウリョウバッタ、エンマコオロギｙ、ササキリ、クサキリｙ
その他の昆虫	８種	カゲロウ幼虫、ミズアブ幼虫、ユスリカ幼虫、ニイニイゼミ、シオヤアブ、ムシヒキアブsp.、ボウフラ（蚊の幼虫）イネミズゾウムシ
貝	８種	マルタニシ、マシジミ、ドブシジミ、カワニナ、サカマキガイ、ヒラマキミズマイマイ、ヒメマルマメタニシ、ヒメモノアラガイ
蛙	１種	アマガエル
魚	２種	ドジョウ、タモロコ
鳥	１１種	ハシブトガラス、ハシボソガラス、ムクドリ、アオサギ、コサギ、ツバメ、トビ、スズメ、ヒヨドリ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、キビタキ
蜘蛛	５種	ナガコガネグモ、ジョロウグモ、トガリアシナガグモ、キバラコモリグモ
甲殻類	２種	ミジンコ、カイミジンコ
その他	３種	シマミミズ、ウマビル、ヒル

・生きもの６６種確認できました。（ユスリカなど種数が多く一括りの類もあります）
・表記：sp.＝～の一種　y＝幼虫
※大型の水生昆虫であるタイコウチが見つかりました。

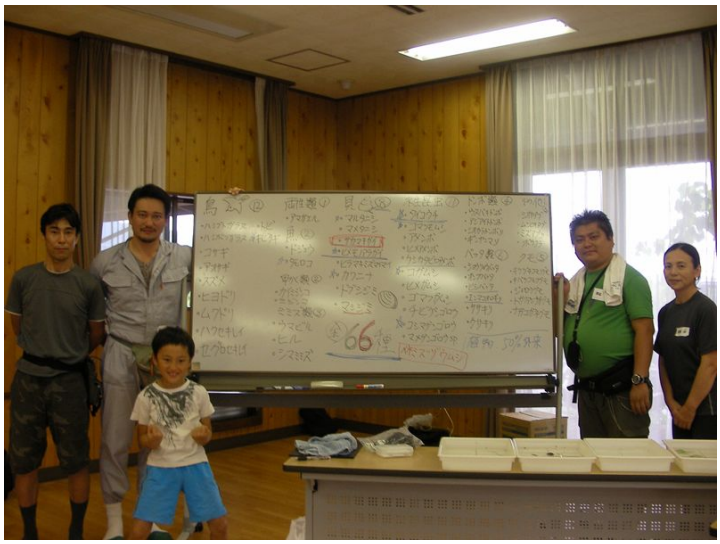
黄色い筋が入った美しいコシマゲンゴロウ

孵化して間もないゲンゴロウ類の幼虫とボウフラ

タイコウチがカゲロウ幼虫を補食中

植物観察で在来種と外来種を学ぶ

気温が低めで過ごしやすい日だったが、生きものたちが沢山出てきてくれた。動物は６６種を確認。中でも大型の水生昆虫であるタイコウチが見つかったことは、生きものに配慮した田んぼを続けてきた成果だろう。ここではカゲロウの幼虫やミジンコなどが、肉食の水生昆虫たちを支えているのだろう。来年はタイコウチの数が多く見られるのではないかと期待してします。戻ってからのまとめの途中で、ゲンゴロウの幼虫が、自分よりも大きなボウフラを捕食するところが見られた。生きものが豊かになることでより大きな命を支えることが出来る。人間自身も沢山の命に支えられていることが分かってもらえたら幸いだ。



インストラクターたちで６６種の名前を囲んで

生きもの係　代表　林　鷹央